

大学入学時のスマホ・情報スキル・タイピングに関する調査について

For research on smartphone and information skills,
typing at the time of university enrollment

梶木 克則

Yoshinori KAJIKI

甲子園大学 栄養学部

College of Nutrition, Koshien University

Email: kajiki@koshien.ac.jp

あらまし：数年前から、1回生向けに担当している情報処理演習の中でスマホの所持率、携帯電話はいつから使っているか、高校でのパソコン演習科目とその期間、ワードエクセルパワーポイントの習熟度、高校でのタイピング練習の有無とタッチタイピングのレベルなどをアンケート調査してきた。高校での情報リテラシー教育は高校によりまちまちであり、期間も1年程度が多い。パソコンスキルの差を拡大して大学に入ってきている感があり、1回生の前期だけの情報処理演習だけでは、それらを一定レベルまでに引き上げることは難しい。

キーワード：情報リテラシー、パソコンスキル、アンケート調査、情報処理教育

1. はじめに

高校での教科「情報」が始まり10年以上になるが、いまだに高校で情報処理の演習を受けてこなかったとか、1年程度であったため覚えていないというケースも多く、相変わらずスキルの格差は狭まっていないように思われる。以前から入学生に対して担当している情報処理演習の中で、高校での情報教育特にパソコンスキルに関連する部分についてアンケートを実施してきた。その他、数年前から従来の携帯電話に代わってスマートフォンが普及し、携帯電話・スマートフォンの所持率、いつ頃から使っているか、旧型携帯とスマートフォンの割合や月額料金なども含めて答えてもらうようにした。

携帯電話に関する部分は、担当する情報処理演習の出席登録に関連して、以前から旧型携帯電話に対応したシステムで行っている関係で、小さい画面に入る設計にせざるを得なかったという点がある。その他、eラーニングを活用するには旧型携帯電話に対応している必要があった。さらに、大学が提供するメールについても、旧型携帯電話から送受信することは難しく、携帯電話へ転送しておくようにという指導に留まっていた。最近ではほぼ全員がスマートフォンを持つようになり、メールの設定により大学のメールの送受信が可能となってきた。画面は小さいがパソコンと変わらない環境となった。ただ、クラスに1人か2人は携帯電話を持っていなかったり、旧型携帯を持っていることが気かりである。

情報処理演習の担当者として以前から徹底している点はタッチタイピングである。就職して職場のパソコンを使いこなす上でタイピングの速さは重要であり、楽に打てることが基本であると思っている。タッチタイピングの指導の際に、高校でタイピングの練習をしてきたかを尋ねるようにしているが、高校によりまちまちであり、徹底して練習してきたと

いうのはわずかである。タッチタイピングの入学時での状況を調査項目に入れている。

情報スキルに関する部分では、ワード・エクセル・パワーポイントなどをどの程度習ってきたかや、使えるかについてできるだけ知っておきたいが、その度合いを測ることは、尋ね方を含め、難しくあいまいである。何らかの資格を持っているかどうかで判断する方がはっきりする項目である。

本稿では、以上のような項目に関して、私が担当する情報処理演習で、2012年度から始めたアンケート調査の結果について述べる。

2. 調査項目について

主な調査項目は、携帯電話、高校での情報科目、タイピング能力、情報スキルである。2012年度あたりは、まだ旧型携帯電話の割合が4割弱あり、旧型携帯かスマートフォンかの選択肢を選ぶ形式を2013年度まで続けた。2014年度からは、スマートフォンの種類として、iPhoneかアンドロイドかその他かを尋ねるよう変更した。さらに、自分のパソコンやタブレットを持っているかについて、デスクトップPCかノートPCかタブレット(3種)について複数回答可の設問も追加した。

なお、このアンケートはグーグルのフォームを利用して作り、回答直後に集計のグラフ(回答の概要を表示)を教示用モニタを通じて見せるようにした。

2.1 携帯電話に関する項目

携帯電話に関しては、2012年度は携帯電話かスマートフォンかのどちらか、キャリアはどこか、1ヶ月の料金を尋ね、2013年度から使い始めた時期とスマートフォンに変えた時期を追加した。2014年度以降、スマートフォンの種類も尋ねるようにした。iPhoneの利用者が多いことと、携帯からスマホに変

わり月額の利用料が増えたことが伺える。図1に質問項目の移り変わりを示す。(左 2012, 右 2016 年度)

4-1 現在使っているのは携帯・スマホ？

☐ 携帯電話

☐ スマートフォン

☐ 両方

☐ 持たず

4-2 キャリアはどこのですか

☐ ドコモ

☐ au

☐ ソフトバンク

☐ その他:

5. 1ヶ月の料金はどれくらいかかっていますか

4-1 現在使っているのは旧型携帯・スマホ？

☐ 旧型携帯電話

☐ スマートフォン(iPhone)

☐ スマートフォン(アンドロイド)

☐ スマートフォン(その他)

☐ 両方

☐ 持っていない

4-2 キャリアはどこのですか

☐ ドコモ

☐ au

☐ ソフトバンク

☐ その他:

4-3 いつから旧型携帯電話あるいはスマホを使い始めましたか

☐ 小学生から

☐ 中学生から

☐ 高校から

☐ 大学に入学時から

☐ 持っていない

4-4 スマホに変わったのはいつ、あるいは変える予定は元からスマホの人も

☐ 2年以上前

☐ 1年以上前

図1 携帯に関する質問項目の移り変わり

2.2 タイピングに関する項目

高校でタイピングの練習をしてきたかを測るために尋ねているが、その度合いを表すことは難しく、図2右に示すようなあいまいな表現になっている。

6-1 高校での情報科目は

複数選択可能です。

☐ 情報A

☐ 情報B

☐ 情報C

☐ その他:

6-2 高校での情報科目の期間

高校3年間の合計の期間を教えてください。

6-3 タイピングについて、どれくらいできますか

☐ 手元を見ないで両手で打てる

☐ たまには見えてしまうが両手で打てる

☐ 見ないで打てないが両手を使う

☐ 両手は使えないがそこそこ打てる

☐ ゆっくりしか打てない

☐ まったく打てない

図2 情報科目とタイピングに関する質問項目

2.3 情報スキルに関する項目

高校で習った情報関連のスキルがどの程度身についているかを5段階で答えてもらった。

6-4 高校で習った情報関連のスキルは身についていますか	かなりできる	割合できる	ある程度できる	少しかできる	全くできない(習っていない)
①タイピング	☐	☐	☐	☐	☐
②メール	☐	☐	☐	☐	☐
③情報検索	☐	☐	☐	☐	☐
④情報モラル	☐	☐	☐	☐	☐
⑤ワード	☐	☐	☐	☐	☐
⑥エクセル	☐	☐	☐	☐	☐
⑦パワーポイント	☐	☐	☐	☐	☐
⑧その他	☐	☐	☐	☐	☐

図3 情報スキルに関する質問項目

3. いくつかの回答結果の推移について

図4に示す携帯・スマホの推移では、2014年度以降スマホの種類について選べるようにした。旧型携帯の減る様子が良く分かる。スマートフォンでは、iPhoneの割合が7割以上を占めていることが分かる。3つの図において、2014年度の分布が他の年度と違うのは、回答数が少ないことが影響していると考えられる。

図5に示すタイピングについては、年度により多少の上下はあるが、改善されてきているということは無く、高校ではタイピングの練習は行われていな

いことが伺える。図6のワードのスキルについても、できるようにはなっていないと、5年間においの変化はあまりないことが伺える。

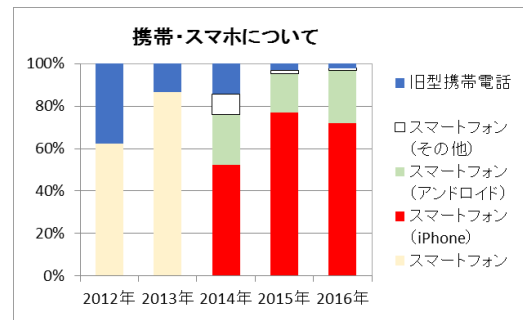


図4 携帯・スマホに関する移り変わり

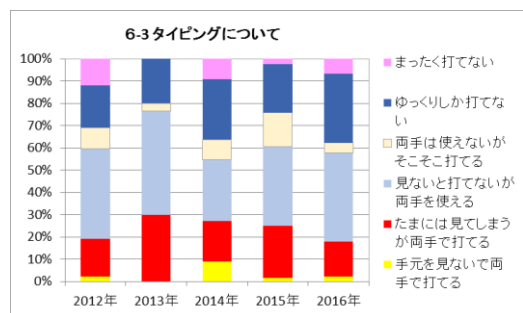


図5 タイピングに関する移り変わり

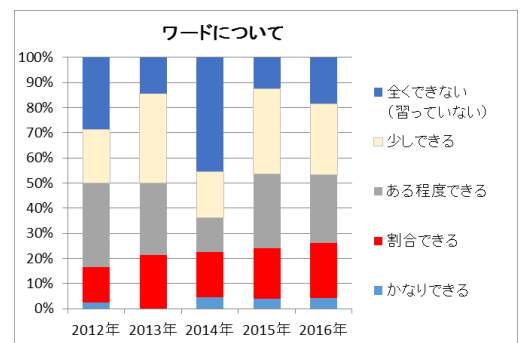


図6 ワードのスキルに関する移り変わり

4. まとめ

旧型携帯電話が2012年度から2013年度にかけて大きく減っていったことが分かった。今ではほぼ全員がスマートフォンを持つようになり、情報セキュリティの面から指導をする必要が出てきていると考えられる。さらに、スマートフォンでなんでもできてしまうために、パソコンのスキルアップの必要性が薄れてきているところがあり、パソコンを使いこなせない学生が増えてきているように思える。特にタイピングについて、大学生の間にタッチタイピングができるようになってもらいたい。

参考文献

- (1) 梶木克則, 那須靖弘, 榊井猛: “グーグルドキュメントのフォーム機能を利用したアンケート作成演習の試み”, 平成21年度情報教育研究集会, A3-4 (2009)